

地域農業戦略指針の改定について

滋賀県の農業・農村の現状

【農業経営】

- 米価等農産物価格の低迷 ○農業従事者の高齢化、後継者不足
 - 個別経営農家の規模拡大（経営規模の2極化）
 - 集落営農組織の法人化の進展と活動停滞（参画意識の低下、役員等のなり手不足）
- 【農村集落】
- 農家数、集落の農家率の減少 ○農業への関心の薄れ

農業農村の将来予測

【将来予測】

- 水田作農家の大規模化と法人化の進展
- 中規模以下の水稻農家の減少
- 組合員全戸出役型の集落営農から専従・雇用型の集落営農への転換
- 維持困難な集落営農組織の増加
- 農村集落における農家率のさらなる低下

農業・農村の弱体化の懸念

- 今、対策を講じなければ、
荒廃農地の発生、拡大
共同活動の崩壊
美しい田園風景の喪失
伝統ある農村文化の衰退
を招く恐れ

コロナ禍を経た3つの気づき

- 地元で農畜水産物が生産されている安心 ○人のつながりの大切さ
- 滋賀の農山漁村が近くにあることの価値・魅力

目指す農業・農村の将来の姿

「担い手、小規模農家、土地持ち非農家、地域住民がともに支え合い、集落の農地がしっかりと守られ、人々がいきいきと生活している」姿

農業の持続・発展、活力ある農村に向けた関係づくり

【担い手（個別経営、集落営農組織）の役割】

- ・健全な農業経営の展開により集落農地の保全・雇用機会の提供に貢献

【土地持ち非農家、地域住民の役割】

- ・水路、農道管理に参加し担い手の経営を側面的に支援
- ・集落活性化の取組に参加

【集落の役割】

- ・人材や資源を活用し、活力ある農村に向けた取組の推進
- ・個別経営：規模拡大など経営発展に意欲的な農業者で法人を含む
・集落営農：集落の農家で構成し生産から販売まで一体的に行う組織

目指す姿に向けての取組

これまで、農村集落が培ってきた協働、相互扶助の精神を生かして農業の持続と集落の活性化を一体的に進める

農業の持続・発展に向けた取組

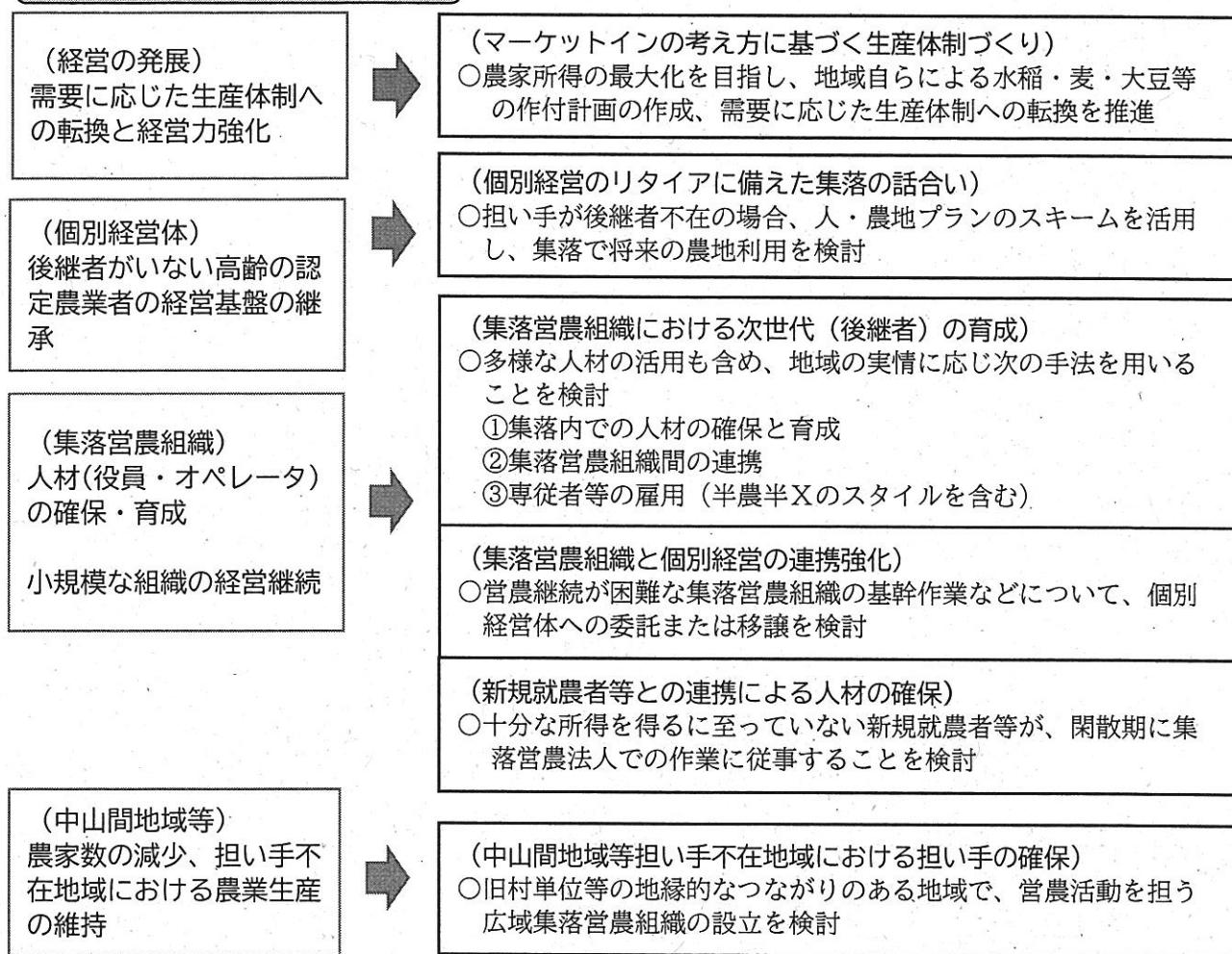
- ①マーケットインの考え方に基づく生産体制づくり
- ②集落に支えられた個別経営の展開
- ③集落営農組織の発展
- ④集落営農組織と個別経営の連携強化
- ⑤新技術の積極的な導入

活力ある農村に向けた取組

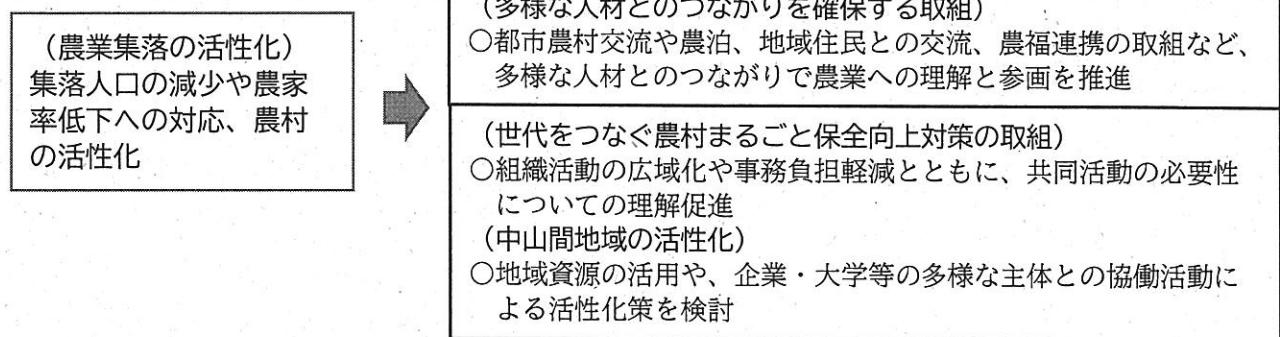
- ①多様な人材とのつながりによる地域の活性化
- ②地域ぐるみの取組（共同活動）による農地や水路・農道、農村環境の保全
- ③中山間地域の活性化
- ④女性農業者の活躍による農業経営の発展、農村の活性化

新たな課題とその対応

①農業の持続・発展に向けた取組



②活力ある農村に向けた取組



③新たな技術・取組の推進

